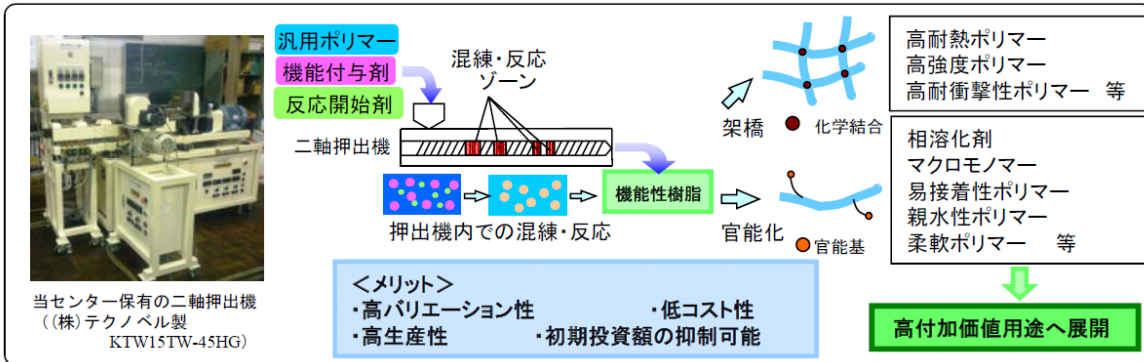


No. 11 リアクティブプロセッシング（反応押出：RP）法を活用した汎用プラスチックの高付加価値化技術

(1) 開放特許（シーズ）の概要

リアクティブプロセッシング（RP）とは、適切な化学反応を行うことで汎用プラスチックに新たな性能を簡単に・効率よく付加させることのできる、滋賀県東北部工業技術センターのシーズ技術です。

汎用プラスチックに用いる化学反応は多岐にわたり、皆様のニーズに応じて材料設計することが可能です（現在、2つの関連特許を取得済）。



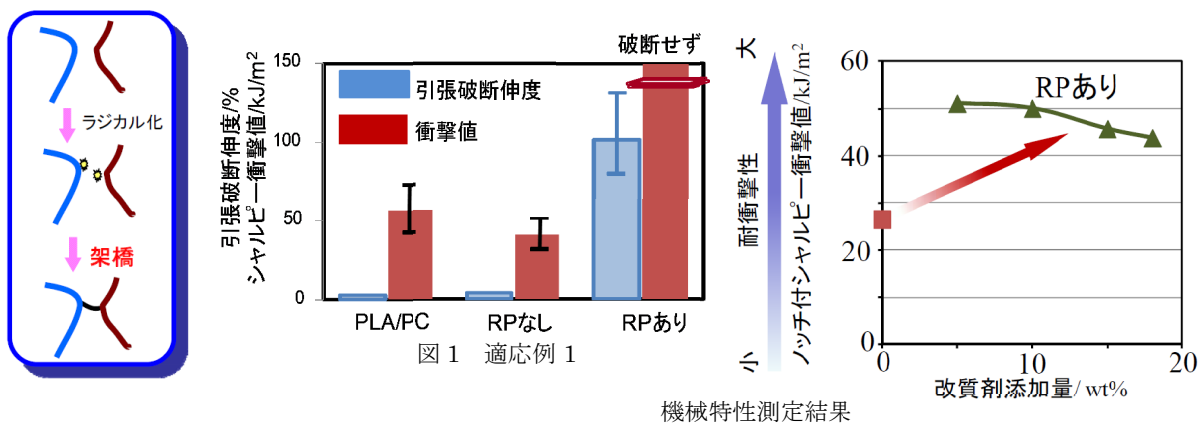
(2) 特徴

■ 架橋技術の適応例 1（特許第 5290060 号）

非石油由来樹脂使用プラスチックであるポリ乳酸（PLA）に、ポリカーボネート樹脂、第三成分および反応剤を加えることで得られる、耐熱性・耐衝撃性を備えた新たなプラスチックに関するものです。

■ 架橋技術の適応例 2（特許第 5971686 号）

汎用エンジニアリングプラスチックの代表格である ABS 樹脂に、改質剤および反応剤を加えることにより得られる、極めて耐衝撃性の高い新たなプラスチックに関するものです。



機械特性測定結果

図 2 適応例 2

(3) 活用例

- ✓ 架橋技術適応例 1、2

高い耐衝撃性を活かした、各種 OA 機器、家電製品、自動車の外装材料およびこれらの部品等

(4) 提供条件等

以下のような技術提供が可能です。

- ◆ 新たな材料開発に！（共同研究）

センターが保有する RP 技術ノウハウを活用した独自の新材料開発を共同で実施しませんか。

- ◆ 2 つの特許を用いた新製品に！（実施許諾）

上記各 2 特許の実施許諾により、具体製品を実用化しませんか。

（通常実施権の許諾を原則とします。）

(5) 特許情報

特許権者：滋賀県

特許番号：特許第 5290060 号

登録日：H25 (2013). 6. 14

出願日：H21 (2009). 6. 12

名称：樹脂組成物

特許権者：滋賀県

特許番号：特許第 5971686 号

登録日：H28 (2016). 7. 22

出願日：H24 (2012). 3. 12

名称：樹脂組成物